

〔家保のページ〕

東北地方でアカバネ病の流行を確認

津山家畜保健衛生所

1 アカバネ病とは？

アカバネ病はウイルスによる伝染病で、ヌカカなどの小型吸血昆虫によって、牛から牛に伝播します。妊娠牛に感染すると流産、死産、早産、四肢のわん曲などの奇形産子の出産が見られるので問題となります。



写真；胎児感染（関節の湾曲と硬直）

2 東北でアカバネ病の流行を確認！！

従来アカバネ病は吸血昆虫が生息しやすい温暖な地域で発症が見られるとされてきました。

しかし、今年は東北地方（岩手県及び宮城県）で抗体陽転が確認されました。このことは、今シーズン、国内の広い範囲で本病の感染があった可能性を示しており、今冬以降、流死産や奇形等が多発するおそれがあると考えられています。今夏が猛暑だった影響があるのかもしれませんが。

3 県内では平成 20 年に流行

アカバネ病は 2 年前の平成 20 年に岡山県で大流行し、県内で届出があったものだけで 40 戸 42 頭にのぼりました。

また、県内で初めて子牛の生後感染が確

認され、届出件数は 10 戸 10 頭でしたが、農業共済組合連合会北部家畜診療所の胎児・子牛共済支払頭数は、対前年度比 9 月 14.4%、10 月 21.3%、11 月 11.7% であり、実際の被害は届けがあった件数よりはるかに多いと思われました。

4 予防するには・・・

本症はワクチンによって防御できるため、被害は容易に抑えることができます。しかし、初回の 2 回接種以降、毎年 1 回接種というプログラムを守っている農家は意外に少なく、また流行から数年すると、過去にあった流行は忘れてしまうのが人の常で、岡山県でも 4～5 年毎に流行を繰り返し、問題となっています。

来年度こそしっかりワクチンを接種し、流行に備えましょう。

平成 21 年度ワクチン接種率（中国 5 県）	
岡山県	41.5%
鳥取県	84.2%
島根県	56.8%
広島県	76.3%
山口県	63.4%

※ワクチン接種率＝

ワクチン接種頭数

/(乳用牛総頭数+肉用種の子取り用雌牛計)

☆アカバネ病予防の要点☆

- ・初めての牛は 1 ヶ月間隔で 2 回、翌年からは 1 回追加接種。6 月末くらいまでに接種を完了すること。
- ・子牛には初乳をしっかりと飲ませる（初乳中の抗体により子牛に免疫力を獲得させて、生後感染を防止する。）